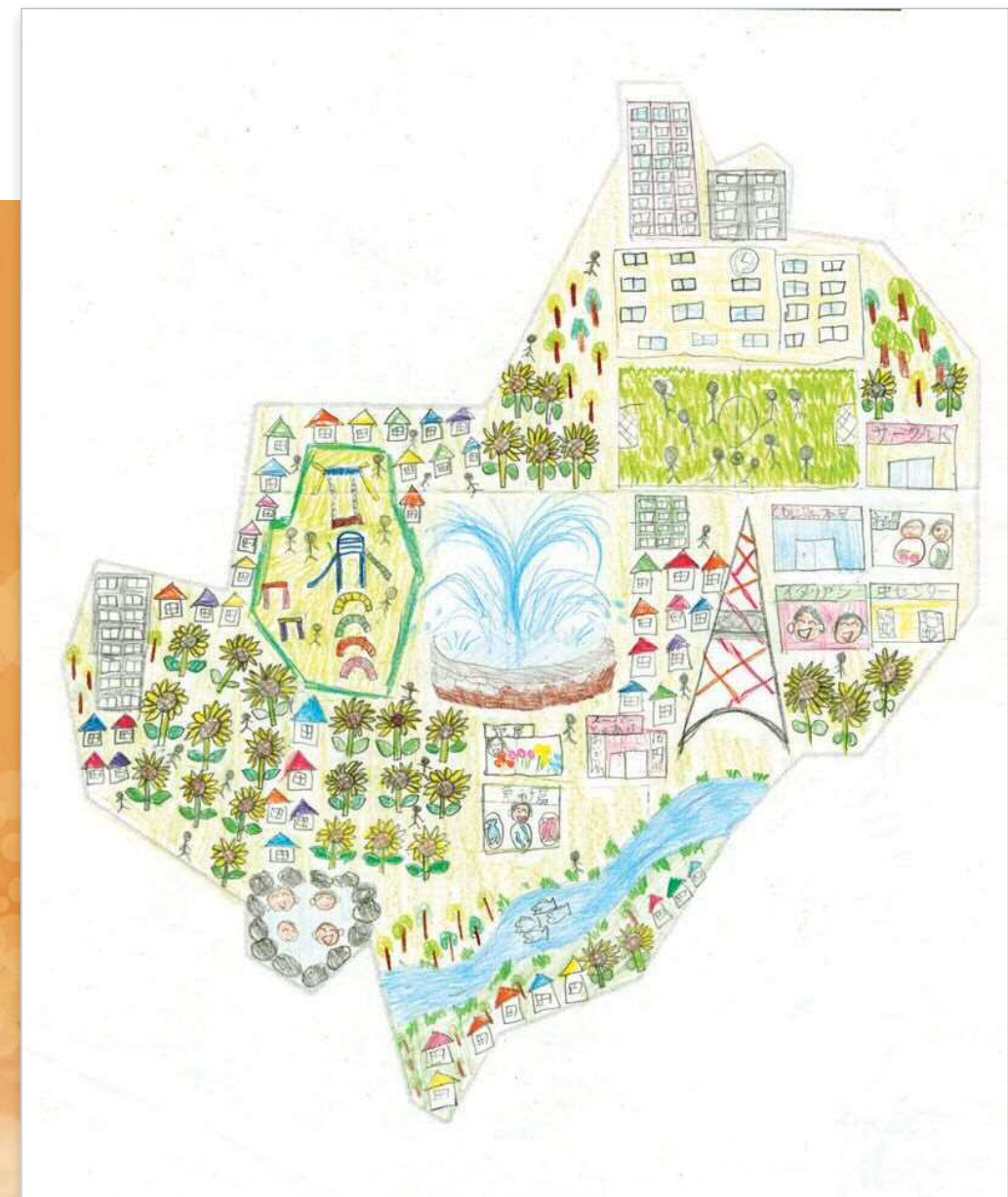


資料編

- ①めざすまちの姿マトリクス表 ②まちづくり指標一覧 ③計画策定体制 ④計画策定経過 ⑤審議会委員名簿 ⑥諮問書
⑦答申書 ⑧まちの未来を描き隊名簿 ⑨計画策定への市民参加 ⑩豊明市総合計画条例 ⑪用語説明



大宮小学校 5年
金森 大輔さん

豊明の花ひまわりと、緑と青でさわやかなイメージの豊明を描きました。

(1) めざすまちの姿マトリクス (分野×理念)

理念 分野	安心	快適	健やか
	健康福祉	心配や不安がなく、明るく暮らせるまち 子ども、高齢者、障がい者等への虐待やDVなどが無い 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している	きれいで、心地よく、誰もが住みやすいまち
地域・市民生活	まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない	人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである	
教育・歴史文化	いじめや自殺、引きこもりがない 子どもが良いことと悪いことの区別ができる		教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい 子どもが、ずっと育ってきた豊明を大好きでいる
都市基盤・産業		道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる 交通の利便性が高く、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している 空気がきれいである 日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている	
行政経営			

つながり	誠実	元気	挑戦
地域の中でお互いが支えあい、助け合えるまち	健全で透明性が高い行政運営で、市民に開かれたまち	誰もがいきいきと明るく、活気にあふれているまち	誰もが生きがいを持ち、夢や目標に向かって踏み出せるまち
誰もが身近に寄り添える場所があり、地域の人と支え合いながら、孤立することなく暮らすことができる		子どもを産み育てやすいまちとなっており、子どもの数が増えている	高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている
支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困っていない			
子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している		子どもが元気に外で遊んでいる	若い世代も地域で活動し、地域の自治力が高まっている
災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている			若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている
防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の準備と連携が十分できおり、災害時には助け合うことができる			女性が職場や地域で活躍し続けている
行政や地域が発信する情報を市民が積極的に共有し、活用している			
市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りをもち、次世代が継承し創造している		子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている	子どもが夢を持ち、将来グローバルに活躍できる人材に育っている
			すべての子どもが質の高い学びに参加し、生きるための学力が向上している
		豊明市に魅力があふれ、「通過するまち」から、「足を運んでいただけるまち」になっている	若い人たちが地元で働ける
		市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている	
	行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている		市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている
	世代、性別などで不公平感のない予算配分や施策となっている		
	税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
	市職員の顧客サービス向上の意識が高く、市民のほうを見て仕事をしている		
	市民にとって必要な情報が提供され、行政が取り組んでいることが市民に分かりやすい		
	行政は明確な成果目標をもち、定期的に達成度を確認し、絶えず改善している		